

2016年2月号 小島薬局漢方堂



# パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます



## 漢方で早めの花粉症対策!



2月は暦の上では春ですね。今年は暖冬と言われ、比較的暖かい日が続きました。気温が高いと、スギ花粉の飛散は早まる傾向にあります。

漢方では花粉症は①”宿邪”（内因） ②バリア力不足（外因）が大きな原因と言われています。宿邪とは、体内に潜んでいる病邪（炎症物質・免疫複合体など）のことです。アレルギー体質の改善には宿邪をとりのぞき除き、バリア力をつける必要があります。

漢方ではウイルスや細菌、花粉などの体に侵入し、害を与えるものを”外邪”といいます。この外邪から体を防衛するバリアの役割を果たしているのが「衛気（えき）」です。衛気は「紫華榮」や「衛益顆粒」などの漢方薬で補うことができます。バリア力を高めることで、アレルギー反応が起こりにくくなり、花粉症の症状を軽くし発症を予防します。花粉症シーズンの1～2ヶ月前からお飲みいただくのがベストです。

宿邪にはいくつかのタイプがあり、症状によって漢方薬を使い分けることでより効果を発揮します。くしゃみ・水っぽい鼻水・水っぽい痰・鼻づまりなどの症状には、呼吸器を温める「小青竜湯」を使用します。逆に、体が熱っぽく、目・鼻・のどの粘膜が赤く腫れ、鼻水が黄色く粘っている症状には、炎症などの熱を冷ます「涼解楽」を使用します。体質を改善し根本的な花粉症対策をしましょう。花粉症でお悩みの方はお気軽にご相談ください!

2月15日にて漢方スタッフの酒井彩花が退社いたします。短い期間ではありましたが、様々な経験をさせていただき、皆様には本当に感謝しております。今後は実家の漢方薬局を盛り立てていけるよう頑張ります。2月1日から管理栄養士の内山景子が入社いたします。どうぞよろしくお願ひします。



## 温活&紫華榮



## サンプルプレゼントキャンペーン!!

今年は暖冬と言われてはいますが、まだまだ“冷え”には注意が必要です! 漢方では古くから“冷えは万病のもと”であると考えられています。特に女性に多いと言われる“冷え”ですが、近年では食生活の乱れ、睡眠不足、運動不足、ストレス、冷暖房の使い過ぎなどの原因で男性にも増えています。“冷え”は病気ではありませんが、免疫力の低下、疲れやすい、食欲不振、頭痛、腰痛、肩こり、肌荒れ、自律神経の乱れなどの原因になると言われています。特に女性では月経不順、生理痛、更年期障害、不妊症などが関係してくるため、“冷え”にはより注意が必要になります。

これらの症状から身体を守るためにはまず自分に合った漢方薬を服用し、体質を根本から改善していくことが重要です。

手足の冷え、顔が青白い、疲れやすい、月経不順、生理痛などの症状を伴う

“冷え”は比較的女性に多く見られ、「気血不足」によって現れます。女性は生理・出産や過度のダイエットが原因で血液を消耗してしまい、血液と共に気力も消耗してしまうので「気血不足」になり“冷え”になる傾向が高くなります。この様な「気血不足」からくる“冷え”には、『婦宝当帰膠』がおすすめです! 『婦宝当帰膠』は「婦人の聖薬」と呼ばれる当帰を中心に、9種類の生薬がバランス良く配合され、気血を補い血流も改善してくれる働きを持ちます。男性の冷えでは、胃腸のケアや身体其自然治癒力を高めて血液を綺麗にしてくれる『松寿仙』や、疲労回復効果に優れ冷えにくい身体にしてくれる『紫華榮』がおすすめです! これからの寒さを乗り切るために、『婦宝当帰膠』を飲んで温活をされてみてはいかがでしょうか?

今月は温活キャンペーンを実施いたします! ダイレクトメールに同封しているチラシをお持ち頂くか、『婦宝当帰膠』をお買い上げの方にミニカイロを2つプレゼント致します! 紫華榮サンプル(6包¥1,296相当)プレゼントキャンペーンについての詳しい応募方法は、同封されたチラシの裏面をご確認ください!